



紙飛行機を飛ばそう 6/9

南多久公民館が主催している「わんぱく体験塾」で日本紙ヒコーキ協会九州支部長で認定指導員の井上英史さんを講師に招いて、紙飛行機大会が開かれました。参加した約30名の親子が、井上さんの説明にしたがって自分で折った飛行機を小学校のグラウンドで飛ばし合いをすると、中には野球のフェンスを越えてどこかへいってしまう一幕も。

「王冠」形のめずらしい飛行機にも挑戦し、紙1枚が作り出す不思議な世界に参加者は興味深げでした。

紙がお空をとぶしぎ

カットチョイス

まちの話題

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 FAX75-2110

不審者避難訓練 6/14

学校に侵入した不審者に対する避難訓練が、小城警察署の協力で11日に北部小学校、14日に南部小学校で実施されました。声を荒げて教室に入ろうとする警察官扮する不審者を入り口でとどめている間に異常に気付いたほかの職員が、速やかに通報・校内一斉放送による各担任の誘導で全児童たちは無事校舎外に避難することができました。署員の方は職員に特に刃物を持った者への対処の仕方や、児童には「イカのおすし」で知らない人についていけないよう注意を促しました。



子どもたちを守ろう

夢よ大きく育て

青少年育成市民大会 6/23

多久市青少年育成市民大会・少年の主張発表会が中央公民館で行われました。

市民大会では、毎月区内の清掃や高齢者とのふれあい活動を行っている若竹子どもクラブ（古賀三区）など、長年地域で青少年育成に大きな貢献をされている1団体と個人8名の方が表彰されました。また、これに先立って行われた少年の主張発表会には、市内の小・中学校から小学生8名、中学生6名が「自然破壊」や「将来の夢」など日頃の生活の中で感じている様々なテーマについて、力強く発表されました。

